

世界遺産登録への道

道

Vol.12

「市民一人一人が価値を知る」
―浄土思想と文化的景観について―

「平泉―浄土思想を基調とする文化的景観―」の価値は、その遺産名のとおり「9つの資産が浄土思想を基本に形作られていくこと」と「それらが文化的景観として評価できること」です。先月号では浄土思想についてふれましたので、今回は文化的景観について紹介します。

文化的景観とは世界遺産以外ではなじみのない言葉かもしれませんが「自然と人間の生活とが調和・共存しながら出来上がった風景」のことをいいます。1992年に世界文化遺産の新しい登録基準として採用されたもので、①自然の中で人間が設計し、創り出した風景②自然と

人間の伝統的な生活様式が密接にかかわり合いながら生み出された風景③自然と宗教的・芸術的要素とが結びついた風景の3つに分類されています。

「平泉」における文化的景観

それでは「平泉」のどのような部分が文化的景観として評価されているのでしょうか。その一部をご紹介します。

まず①に分類されるものとして、藤原基衡が造営した毛越寺の浄土庭園（平泉町）があげられます。

この庭園は、背後にある金鶏山や塔山といった自然地形を意識しながら、『作庭記』という古代末期の庭づくりの指南書に忠実に造られた、庭園の傑作といえるものです。

次に②に相当するものとして、骨寺村荘園遺跡と農村景観（一関市）があります。

骨寺村は藤原清衡が「紺紙金銀字交書一切経」の書写を完成させた自在房蓮光に与えた土地が基になつてできた村です。今

から約700年前の村の様子が地図として残されていて、今の様子とほとんど変わりません。これは長い間、骨寺村の人びとが自然を大きく変えることなく、長い間、調和・共存しながら暮らしてきたことを示す貴重な遺跡といえます。

最後に③に当てはまるものとして金鶏山があげられます。

金鶏山は、奥州藤原氏が約千年にわたって山頂に経塚（お経を土に埋めた場所のこと。56億7千万年後に弥勒菩薩がこの世に現れるときの備えといわれる）を造っていたことと、無量光院や毛越寺の造営の際の基点



骨寺村荘園遺跡と農村景観（提供：川嶋印刷株式会社）

となっていたことから、奥州藤原氏や平泉の人びとにとって信仰の対象だったことが分かります。

これらから「平泉」では人間が自然と調和・共存しながらさまざまな活動をしてきたことがよく分かります。この人間と自然の調和は、地球環境の危機が迫りつつある21世紀において、もう一度大切にしなければならぬ事ではないでしょうか。

また、先月号で「平泉」における浄土思想は「平和への想い」のことだと紹介しました。つまり平泉の価値を表す「浄土思想を基調とした文化的景観」とは、絶え間なく続く争いや危機的環境を抱える地球で生きる、全地球人へのメッセージでもあるのです。



藤原氏信仰の山・金鶏山（提供：平泉町教育委員会）

■問い合わせ 世界遺産登録推進室（前沢総合支所内線313）

消費生活Q&A相談

このコーナーでは、普段の生活で実際に相談があった事例から、その対処方法などを紹介します。

消費生活相談は水沢・江刺総合支所市民相談室に常設。詳しくは広報おうしゅうお知らせ版の「相談窓口」参照

Q 日ごろ携帯電話の占いや懸賞サイトに登録をして遊んでいました。ある日、登録した覚えのないサイトから「1000万円の懸賞金が当たりました」とメールが届きました。懸賞金を受け取るためには、そのサイトからポイントを購入し、メール交換によって手続きをする仕組みでした。制限時間内に手続きをしないと無効になってしまうと言われ、急いで3万円のポイントを購入しました。

しかし、いくらメールを打っても、懸賞金を受け取れる段階になりません。止めたいと何度申し入れても「あともう少しなのにもつたない」と励まされ続けました。指示されたとおりにメールをしているうちに、ポイントが次々と使われてしまい、気が付いたらクレジットや現金で150万円も使ってしまった。非常に後悔しています。

A このような被害相談は、昨年後半から全国的に増加しており、テレビなどでも取り上げられて話題となりました。被害に遭わないためには、①「当たった」というメールが来てもお金を絶対に支払わない②懸賞金の受け取りのためと言われても、個人情報（住所、氏名、自宅の電話、銀行口座、クレジットカード番号など）を教えない③執拗なメールの場合には、メールアドレスを変えようということです。このほかにも、携帯サイトに関するトラブルで、悪質な出会い系サイトや、融資振込み詐欺などの相談がたくさん寄せられています。出会い系サイトでは今回と同様にメールのやり取りだけで120万円ものポイント料金を取られたという相談もあります。携帯サイトの利用は、十分に注意してください。（水沢総合支所市民課相談係）

おえ気ですか
市長です！



奥州市長
相原正明

舞台に出て行くと、満席の客席から「ワァー」と声が上がリ、何をどう述べても喜ばれるような気がして、セリフも苦になりませんでした。時は1月27日、所は江刺区のささらホール。奥州市民☆

場「阿吽」のそれは、不安と緊迫と安堵でした。舞台上の仁王像の素晴らしいセリフに見とれながら、人間が皆美しい心を持っていることを感じさせる、感動のドラマでした。実は、この原稿は最後にご紹介する第8回奥州前沢劇場「三沢姉弟物語」（3月2日）を観劇した直後に書いております。豪華絢爛の武家衣装とともに、歴史に名高い伊達騒動を軸とした重厚な物語が展開されます。ここでも最後は、人間の良心が勝利したようです。

それぞれに共通するのは、終了した直後の舞台側と観客側との熱い一体感です。明日のエネルギーに通じること請け合いです。

お元氣
レシピ

地産地消応援メニュー ②4

かにちらしずし



材料（4人分）

米……………300g
油揚げ……………15g
干しいたけ……………5g
薄切りれんこん……………30g
かにほぐし身……………40g
錦糸卵……………50g
ナバナ(彩り用)……………適宜
しょうゆ……………小さじ1
砂糖……………小さじ½
A＝酢…大さじ2弱、砂糖…大さじ2、塩…小さじ½、酒…小さじ1

作 り 方

- ①干しいたけは水で戻し、千切りにする。油揚げも千切りにし、れんこんは食べやすい大きさに切る
- ②①をしょうゆ、砂糖で下煮する
- ③米を炊飯し、炊き上がったところに下煮後の①とAを入れ、よく混ぜ合わせる
- ④炊き上がったら、かに、卵、ナバナを盛り付けて出来上がり

わたしたちが作りました



水沢南小学校給食室

この日は、春の訪れを感じさせるナバナやサワラを使用。旬や季節感を大事にしたいと考えています。